

第46期事業報告書

平成11年4月1日～平成12年3月31日

 理想科学工業株式会社

RISO
REPORT
2000

株主の皆様へ



代表取締役社長 羽山 明

株主の皆様には、日頃から格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに当社第46期事業報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は財政の積極策と低金利政策により、ようやく個人消費・民間設備投資にも、かすかに回復の兆しが見られるようになったものの、未だ成長過程に入ったとはいえぬ状況で推移いたしました。世界経済を概観いたしますと、米国の景気は依然として好調を維持し、欧州各国の景気も概ね緩やかな拡大基調にあり、また、アジア諸国についても、通貨危機の後遺症は残るものの輸出の伸長を主因に景気は回復期に入りました。

このような環境の中で、孔版印刷機の全体の出荷台数は前年度比マイナスになったと推定されます。国内はほぼ横ばいながら、海外向け出荷が二桁のマイナスとなったことが影響したものと考えられます。パソコンの普及にともない、いわゆるプリンタの出荷は急増しておりますが、同じプリンタである孔版印刷機もそのような環境に融合しつつ、更に得意領域を開拓していくことが必要であるといえます。

当社では「世界に類のないものを創る」を開発方針として、「安定的収益の確保と健全経営を貫く」ことを目標としており、

この実現のために中期的課題として次の3点に取り組んでおります。

- (1) 開発型企業としてパソコンの普及とネットワーク環境に対応する新製品の開発を推進してまいります。
- (2) 連結経営の強化を行い、製造面ではグローバルに最適地生産と最適部材調達を推進してコスト低減を実現し、為替変動に対する抵抗力を高めてまいります。
- (3) 既存の販売ネットワークをいっそう拡充することはもちろんであります。時代に即した新しい販売チャネルの開拓に努めるとともに、レンタルなどの販売手法も適宜取り入れ、ユーザーに密着した営業活動を積極的に展開してまいります。

経営成績 当期の概況

当社の連結の売上高は797億円で前期比55億円、6.6%の減収となりましたが、円高による海外売上の目減り58億円を考慮すれば若干の増収であったといえます。因みに、当社の米ドルおよびユーロの円換算レートは、当期が106.15円と102.14円であり、前期はそれぞれ120.55円と129.29円でありました。

国内販売では、リソグラフに通信ネット

ワークを直接接続できる「リソグラフFRシリーズ」をフルライン化し、主力商品として積極的に拡販いたしました。また、10月にはハガキ・名刺などのカード印刷や封筒印刷に特化したデジタルプリンタ「リソーマイスターCP150」を投入し新たな市場の開拓に努めました。

家庭用印刷機プリントゴッコにつきましては、デジタル技術を取り入れた製版機「プリントゴッコデジタル」、布印刷もできる「プリントゴッコアーツ」を発売するなど、個人愛好家のニーズにお応えするように努力しました。

この結果、国内売上は435億円で前期比17億円、3.9%の減収になりましたが、主力のリソグラフ関係売上は前期比ほぼ横ばいで推移いたしました。

米州につきましては、現地販売子会社を核に販売活動を展開し、現地通貨ベースでは前期比2.4%の増収を示しましたが、円換算した売上高は171億円で前期比9.7%の減収となりました。

欧州につきましては、各地販売子会社の直接販売の強化を図り、現地通貨ベースでは前期比3.4%の増収となりましたが、円換算した売上高は120億円で前期比18億円、13.3%の減収となりました。

アジアにつきましては、中国以外のアジ

ア諸国向け輸出は回復しましたが、中国合弁事業の立ち上げにともなう一時的な出荷調整の影響で、売上高は70億円(前期比1.6%減)となりました。

これらの結果、利益面におきましても、経常利益は65億7百万円(前期比25.7%減)、当期純利益は30億25百万円(前期比23.9%減)となりました。

なお単独決算では、当期売上高は699億円(前期比5.7%減)となり、経常利益および当期利益は、それぞれ74億98百万円(前期比16.9%減)および42億6百万円(前期比8.1%減)となりました。また、平成12年4月から導入される退職給付会計に係わる退職給付債務につきましては、従来より引当計上しております退職給与引当金が十分にあり、不足分は発生しておりません。

利益還元策について

当社は株主の皆様への安定的かつ充実した配当を維持することを基本として、企業の成長、発展に必要な内部留保の充実をあわせて行い、株主価値の増加を図るべく努めてまいりました。その一環として当期は利益による自己株式の取得および消却を株式数40万株、総額13億57百万円行いました。

また、当期の配当は、前期と同額の1株

当たり50円とさせていただきます。

次期の業績の見通しについて

今後のわが国経済は、回復基調ながら一進一退が続き、本格的な景気回復にはなお暫くの時間を要するものと思われます。このような情勢ではありますが、当社は世界市場を視野に入れた新製品開発を積極的に推し進め、新たな市場の創出に努めるとともに、効率的な企業運営により売上・利益の拡大に最大の努力を傾注してまいります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高811億円(前期比1.7%増)、経常利益58億円(前期比10.9%減)、当期純利益32億円(前期比5.8%増)を予定しております。

なお、次期業績見通しにおける為替レートは、米ドル100円、ユーロ105円を前提としております。

株主の皆様におかれましては、何とぞいっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成12年6月29日

代表取締役社長
羽山 明

21世紀を見据えた経営基盤の強化でグローバルニーズに即応

理想科学工業は独自の開発によるデジタル印刷機リソグラフを主力商品として高い成長を達成してきました。現在、リソグラフは150か国以上で販売されており、事業のグローバル展開が着実に進んでいます。当社はこれまで製品開発、販売市場開拓、コストダウンなどについて21世紀をにらむ戦略に取り組んできました。ここでは、理想科学工業の経営戦略と今後の展望についてお話し申し上げます。

ネットワーク対応を軸に製品開発

コンピュータ・ネットワークを取り巻く環境が大きく変わりつつある中、情報の出力を担うプリンティング・システムもまた多様化しています。デジタル印刷機リソグラフの最大の特徴は、多枚数の印刷物を手早く、低コストで仕上げられ、しかも誰もが簡単に操作できる点にあります。また企業内LANなどのネットワークに接続して、パソコンの原稿データを

容易に印刷できるため、ネットワークの普及はリソグラフの活躍の場が拡大する好機でもあります。

当社は製品開発の主軸をネットワーク環境への対応に定め、リソグラフのラインアップを強化してきました。昨年1月にリソグラフFR295Nを発売して以降、ネットワーク環境対応のFRシリーズのフルライン化を図り、さらに今年4月には、ネットワーク印刷の効率を一段と高める機能を搭載したリソグラフRP210を発売しました。今後リソグラフは、ますますプリンタとしての役割が大きくなると考えます。

印刷コスト・印刷スピードで優位であるうえ、再生紙やザラ紙など幅広い紙質や紙厚にも対応し、さらにカラーチェンジが簡単でスポット・カラー印刷が得意であるという特性を持っているためです。

この商品特性は、オフィスのネットワーク環境の整備・普及が進む欧米市場において、大きな競争力を発揮します。海外では、リソグラフのネットワーク環境への対応性がまだよく知られていないだけに、欧米を中心に潜在需要は大きいと判断しています。

中量印刷領域に強いリソグラフ

コンピュータ・ネットワークの進歩に伴い、紙をメディアとした情報伝達の形態も大きく変化しようとしています。一か所で集中印刷した大量の印刷物を運搬して配布する方法だけでなく、原稿データがネットワーク

リソグラフの特性を欧米が注目

ネットワーク対応のリソグラフは、米国、欧州でも注目を集めています。それは、リソグラフはデジタル複写機(PPC)やレーザービームプリンターに比し、多枚数印刷領域での



リソグラフRP210

で運ばれ、そのデータを各地のリソグラフィが受信して印刷・配布するといった形態も出てまいりました。各地で印刷される数十部から数千部といったボリュームの印刷物は、リソグラフィの最も得意とする中量印刷領域であり、その強みが発揮される市場です。

文部省は「個を生かす教育」への転換をめざし、2002年をめどに初等中等教育の指導要領改訂を検討しており、地域・個人重視の観点から教科書・教材がより個性化、多様化する方向にあります。教育の情報化推進のもと公立学校4万校をインターネットで結ぶ学校インターネット計画ともからみ、将来は個々の学校でインターネットから必要な情報を選択して教材や発表資料を印刷配布するという新しい利用形態も予想されます。

ハードにおけるネットワーク環境への対応に加え、当社はリソグラフィユーザーの生産性を高めるためのアプリケーションソフト開発にも力を入れています。原稿づくりまでを含めてユーザーにトータルなソリューションを提供する狙いから、チラシの原稿などを作成してリソグラフィで印刷するための専用ソフトを開発してきました。

当期の国内販売においては、チラシの印刷に多く使われている中級機種種の伸びが目立ちましたが、これにはソフトやソリューション・サービスによる

支援が寄与していると見ています。

欧米を中心に海外販売網を強化

連結売上高の50%近くを海外売上高が占めていることに示されるように、理想科学にとって海外市場は国内市場に比肩する重要な市場だと認識しています。当社は海外販売網の整備と強化を重要な経営課題とし、これに全力をあげて取り組んでいます。欧州ではここ数年、主要国での直販拠点の設置、強化



ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で行われたセビット2000

を進め、米国では地域密着型の販売網の拡充に注力してまいりました。当社はRISOブランドを重視し、お客様にご満足いただけるアフターサービス体制を備えた独自の販売チャネルの強化を図っていきます。

欧米市場におけるリソグラフィの販売でとりわけ重要になっているのが、販売会社や代理店の従業員に対するIT教育です。当社はリソー・デジタル・エデュケーション・センターを設立し、より実戦的な知識・技能修得の場として多くの教育を行っております。また、1年半前に主要海外現地法人にIT教育を実施する部門を開設し、現地の営業・サービス担当者を対象にIT教育を行ってきました。現在グループをあげて営業・サービス担当者を中心にしたIT教育に取り組んでいます。

今後3年間でハードの製造原価を20%引き下げ

グローバルな舞台における競争力を強化するため、理想科学はコストダウンに取り組んでいます。コストダウンのよりいっそうの推進をめざして、当期より中国での現地生産を開始しました。

昨年8月に広東省・珠海市に中国航天機電グループとの合弁企業



中国・珠海工場



リソグラフの生産ライン

である珠海理想科学工業有限公司(当社出資比率70%)が開業し、工場は10月から稼働しています。同社で生産したリソグラフは中国市場への供給のほか、将来的には世界市場への輸出を視野に入れています。

また、昨年11月には、海外での部品調達の推進を目的とした駐在員事務所を香港に開設しました。同事務所を拠点にコスト競争力の向上をめざして、海外調達を進めていきます。

当社にとって本格的な海外生産と海外調達は初めてであり、それだ

けに製造過程におけるコストダウンと為替リスクのヘッジを通じ今後の収益に大きな貢献が期待できます。

当社は営業、物流、製造の業務改善・改革活動としてRCS(リソー・サイクル・システム)活動を約10年前から積極的に展開してきました。今後はさらに設計と製造の総合的な進行管理体制を構築することにより、従来以上のコスト削減を実現してまいります。

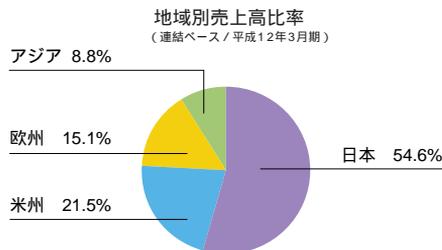
当期より今後3年間でリソグラフハードの製造原価を20%引き下げること目標としております。

2002年3月期から増収増益へ

当社は「リソグラフの販売台数に応じて消耗品(マスター、インク)需要が拡大する」ことにより安定した収益基盤を築いてきました。このビジネスモデルはいささかも変わらないと考えています。連結の1株当たり株主資本3,980円(2000年3月期)が象徴するように、財務内容はきわめて健全です。

今後の業績については、新製品、コストダウン、販売網の整備など一連の施策の効果が具体化する2002年3月期から増収増益になると予想しています。

今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

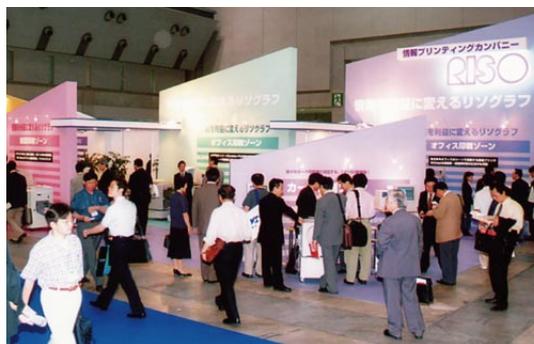


世界各国のさまざまな展示会・フェアで、 リソグラフをアピール

当社は、日本をはじめ各国のフェアへの出展や展示会の開催を行っています。来場される皆様に、製品の展示や実演を通じてリソグラフの印刷スピードやランニングコストの低さ、画質の鮮明さを実感いただくとともに、先進のデジタルネットワーク印刷の提案を積極的に行っています。

毎年、ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で開催される世界最大規模のOA・情報通信イベント、セビット2000をはじめ、国内最大の総合OA展であるビジネスシヨウ2000 TOKYOや東京グラフィックスフェアといったさまざまなフェアに出展し、来場者の大きな注目を集めました。

今後もリソグラフが活躍するさまざまなビジネスシーンに、最適な印刷システムを提案していきます。



東京ビッグサイトで行われた
ビジネスシヨウ2000 TOKYO (平成12年5月)

人と地球にやさしい企業として 資源循環を始めています

理想科学は、環境保全のために様々な商品開発や事業活動を行っています。

リサイクルリソグラフ、「リソグラフREシリーズ」もそのひとつです。これは回収したリソグラフを高度な技術により再生・整備し、再び皆様にご利用いただくリサイクル対応のデジタル印刷機です。REシリーズは、独自の循環型レンタル方式を採用、もちろんアフターサービス面もきめ細かくサポートしています。

昨年6月、リソグラフ用の印刷用紙に「理想環境用紙ケナフ10」が加わりました。この用紙は非木材繊維「ケナフ」を10%、古紙60%を配合した再生紙です。「ケナフ10」は、(財)日本環境財団の「ツリーフリーマーク」認定製品で、購入額の一部は植林などの環境保全活動に役立てられます。

使用済みのリソグラフ用インクボトルについては、資源の有効活用の一環としてリサイクルを進めています。回収したインクボトルは、リソグラフのパーツ等に成形加工されるほか、ハンガーやプリンターなどの生活に役立つ品物に生まれ変わっています。また一部は、工場などの代替燃料として活用されます。



リソグラフ RE33G



理想環境用紙ケナフ10

A3判高速デジタルプリンタ「リソグラフFR395N」、 新型コントローラ「SC7700」を発売

企業内LANなどのネットワーク環境に対応しA3判までの多枚数印刷ワークを省力化する高速デジタルプリンタ「リソグラフFR395N」と、先進のDTP環境に対応しネットワーク環境での印刷ワークを効率化する専用コントローラ「SC7700」を新発売しました。

「リソグラフFR395N」は、リソグラフFRシリーズの最上位機種として新登場。ネットワーク印刷対応、静音運転設計などの特徴を持ち、最大A3判印刷を可能としました。オフィスの印刷ニーズの多様化に応える最新鋭機です。

「SC7700」は、パソコンとリソグラフを接続する専用RIP(画像生成出力装



SC7700

置)です。アドビシステムズ社のポストスクリプト3を搭載し、デザインやデジタルプリプレスの現場で使われるグラフィック・レイアウトソフトで作成した原稿データを、リソグラフで出力できます。高速ネットワークに対応、モニタリング機能や印刷ジョブ管理機能などネットワークでの使用に便利な機能も充実した新コントローラです。



リソグラフFR395N

コンピュータ西暦2000年問題への対応状況等について

当社では、コンピュータ2000年問題を経営上の重要課題と認識し、「コンピュータ2000年問題対策チーム」を設置して対応いたしました。社内情報システムおよび当社製品につきましては問題となるような事態は発生せず、また対応の為の資金支出につきましても、事業運営等に影響を及ぼすものではありませんでした。

プリントテクノ、リソーマイスターを軸に

カード印刷ビジネスへ積極展開

当社が提案する併設型プリントショップ、プリントテクノは3年目を迎えました。会員店は約600店に上り、地域密着型プリントショップとしての認知度を着



「プリントテクノ」
友の会のキャラクター

実に高めています。本年はカード印刷ビジネスへの展開を強力にサポートしていきます。その主軸となるのが、昨年10月に新発売のデジタルカードプリンタ『リソーマイスターCP150』です。

同機は、ハガキや名刺などのカード印刷と封筒印刷に特化した専用プリンタで、特に名刺印刷などで要求される「解像度600dpiの高精細印刷」、「高い印刷位置精度を実現した用紙搬送機構」など、高品質な小型印刷物を提供するための数多くの特徴を備えています。

プリントテクノは、リソグラフィによるチラシや各種会報、自費出版などの印刷ニーズに加えて、名刺や各種の挨拶状、DMや個人のレターヘッドなど、私たちの日々の暮らしの中で発生する多種多様な「生活印刷物」のニーズに幅広くお応えするプリントビジネスを展開していきます。



リソーマイスターCP150

多機能デジタル製版機

『プリントゴッコデジタル』を発売

当社は昨年12月、ランプを使わずにプリントゴッコの版づくりができる多機能デジタル製版機『プリントゴッコデジタル』を新発売しました。

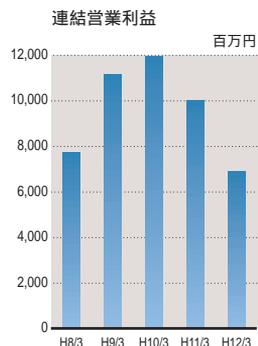
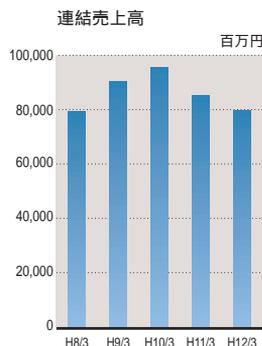
『プリントゴッコデジタル』は、年間を通して多目的・多用途にプリントゴッコをご利用いただいているお客様向けに開発した商品で、原稿の読み取りをスキャナーで行い、デジタル方式でプリントゴッコの版づくり(ハガキサイズ)ができる新製品です。

カラー原稿や写真をそのまま読み取ることが可能で、ネガポジ反転機能や左右反転機能に加え、フルカラー印刷用の色分解製版にも対応しています。四季折々の挨拶状やアート作品などオリジナリティーのある印刷物を求めるお客様から、手づくりのDMなどを低コストで制作したいというビジネスユーザーまで、プリントゴッコの楽しさがよりいっそう広がる製版機です。



プリントゴッコデジタル

業績ハイライト



[連結]

決算期		平成8年3月期	平成9年3月期	平成10年3月期	平成11年3月期	平成12年3月期
売上高	(百万円)	79,217	90,420	95,574	85,365	79,771
営業利益	(百万円)	7,727	11,164	11,947	10,017	6,906
当期純利益	(百万円)	3,598	4,666	5,255	3,975	3,025
株主資本当期純利益率	(%)	8.1	9.7	10.0	7.0	5.1
1株当たり当期純利益	(円)	240.12	310.56	348.86	263.20	201.37
1株当たり株主資本	(円)	3,067.06	3,333.11	3,634.52	3,935.71	3,980.14

[単独]

決算期		平成8年3月期	平成9年3月期	平成10年3月期	平成11年3月期	平成12年3月期
売上高	(百万円)	68,875	74,572	77,851	74,144	69,924
経常利益	(百万円)	7,962	9,191	9,756	9,024	7,498
当期純利益	(百万円)	3,613	4,089	4,549	4,579	4,206
株主資本当期純利益率	(%)	8.1	8.5	8.8	8.1	7.0
1株当たり当期純利益	(円)	241.15	272.16	301.99	303.24	279.96
1株当たり配当金	(円)	43.20	54.50	50.00	50.00	50.00
配当性向	(%)	17.9	20.0	16.6	16.5	17.5

(注) 前期より事業税の表示区分を変更しました。平成10年3月期以前も変更後と同じ基準で組み替えております。
平成9年3月期の1株当たり配当金には、創業50周年記念配当金10円が含まれています。

財務諸表の概要（連結）

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

貸借対照表

（資産の部）

（単位：百万円）

科目	当期	前期
	平成12年3月31日	平成11年3月31日
流動資産	84,525	85,294
現金及び預金	34,842	33,286
受取手形及び売掛金	15,867	16,259
有価証券	18,544	22,156
たな卸資産	11,265	10,104
その他	4,422	3,942
貸倒引当金	416	455
固定資産	35,190	33,803
有形固定資産	27,830	27,511
建物及び構築物	6,835	7,335
機械装置及び運搬具	1,929	1,988
土地	14,010	14,010
その他	5,054	4,177
無形固定資産	1,474	178
ソフトウェア	767	-
その他	706	178
投資その他の資産	5,885	6,113
投資有価証券	1,536	1,547
その他	4,453	4,680
貸倒引当金	103	114
資産合計	119,715	119,097

（注）有形固定資産の減価償却累計額26,716百万円

Point 1

ソフトウェア

前期まで投資その他の資産の「長期前払費用」に計上していたソフトウェアは無形固定資産に表示を変更しました。

（負債の部）

（単位：百万円）

科目	当期	前期
	平成12年3月31日	平成11年3月31日
流動負債	30,333	29,412
支払手形及び買掛金	16,195	15,337
短期借入金	4,621	4,691
その他	9,516	9,383
固定負債	30,066	29,924
転換社債	27,821	27,821
長期借入金	160	203
その他	2,047	1,884
連結調整勘定	38	15
負債合計	60,400	59,337
少数株主持分	782	305

（資本の部）

（単位：百万円）

科目	当期	前期
	平成12年3月31日	平成11年3月31日
資本金	14,114	14,114
資本準備金	14,666	14,666
剰余金	31,461	30,673
為替換算調整勘定	1,708	-
自己株式	0	0
資本合計	58,533	59,454
負債、少数株主持分及び資本合計	119,715	119,097

Point 2

為替換算調整勘定

為替換算調整勘定は、資産の部から資本の部に表示を変更しました。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期		前期	
	平成11年4月1日～ 平成12年3月31日	平成10年4月1日～ 平成11年3月31日	平成11年4月1日～ 平成12年3月31日	平成10年4月1日～ 平成11年3月31日
売上高	79,771	85,365		
売上原価	36,128	38,279		
売上総利益	43,642	47,086		
販売費及び一般管理費	36,735	37,068		
営業利益	6,906	10,017		
営業外収益	698	1,029		
営業外費用	1,097	2,287		
経常利益	6,507	8,758		
特別利益	-	-		
特別損失	-	343		
税金等調整前当期純利益	6,507	8,414		
法人税、住民税及び事業税	3,669	4,751		
法人税等調整額	142	276		
少数株主損失	45	34		
当期純利益	3,025	3,975		

Point 3

現金及び現金同等物の期末残高

3カ月以内に現金として利用できる残高を表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	
	平成11年4月1日～ 平成12年3月31日	平成10年4月1日～ 平成11年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,507	
減価償却費	3,731	
連結調整勘定償却額	4	
貸倒引当金の増加額	3	
受取利息及び受取配当金	304	
支払利息	659	
為替差損	75	
洗替低価法による有価証券評価損戻入益	180	
売上債権の増加額	732	
たな卸資産の増加額	2,032	
仕入債務の増加額	952	
役員賞与の支払額	82	
その他	144	
小計	8,737	
利息及び配当金の受取額	310	
利息の支払額	684	
法人税等の支払額	4,484	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,878	
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	6,954	
定期預金の払出による収入	10,403	
有価証券の取得による支出	100	
有価証券の売却による収入	560	
有形固定資産の取得による支出	3,025	
無形固定資産の取得による支出	507	
貸付金の貸付による支出	230	
貸付金の回収による収入	56	
営業の譲り受けによる支出	650	
その他	392	
投資活動によるキャッシュ・フロー	841	
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金純増加額	536	
長期借入れによる収入	1	
長期借入金の返済による支出	32	
自己株式の取得による支出	1,359	
少数株主への株式の発行による収入	579	
配当金の支払額	761	
その他	3	
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,033	
現金及び現金同等物に係る換算差額	298	
現金及び現金同等物の増加額	1,705	
現金及び現金同等物の期首残高	41,816	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6	
現金及び現金同等物の期末残高	43,528	

財務諸表の概要（単独）

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

貸借対照表

（資産の部）

（単位：百万円）

科目	当期	前期
	平成12年3月31日	平成11年3月31日
流動資産	72,780	72,496
現金及び預金	31,414	30,983
受取手形	1,322	1,503
売掛金	14,576	11,520
有価証券	18,484	22,132
たな卸資産	4,754	4,326
その他	2,306	2,113
貸倒引当金	78	83
固定資産	41,871	39,069
有形固定資産	26,906	26,569
建物及び構築物	6,768	7,243
機械装置	1,146	1,323
土地	14,010	14,010
その他	4,980	3,991
無形固定資産	815	51
ソフトウェア	761	-
その他	54	51
投資等	14,148	12,448
子会社株式	5,780	5,750
その他	8,677	6,812
貸倒引当金	103	114
投資評価引当金	205	-
資産合計	114,651	111,565

（注）有形固定資産の減価償却累計額25,552百万円

Point 1

売掛金

海外子会社の運転資金として、支払サイトの延長をしました。

（負債の部）

（単位：百万円）

科目	当期	前期
	平成12年3月31日	平成11年3月31日
流動負債	23,416	22,456
支払手形	6,495	7,445
買掛金	9,199	7,274
短期借入金	5	7
その他	7,716	7,728
固定負債	30,007	29,895
転換社債	27,821	27,821
長期借入金	151	190
その他	2,034	1,884
負債合計	53,424	52,352

（資本の部）

（単位：百万円）

科目	当期	前期
	平成12年3月31日	平成11年3月31日
資本金	14,114	14,114
法定準備金	18,195	18,188
剰余金	28,917	26,911
（うち当期純利益）	（4,206）	（4,579）
資本合計	61,227	59,213
負債及び資本合計	114,651	111,565

Point 2

投資等・その他

珠海理想科学工業有限公司設立のため、13億円を出資しました。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成11年4月1日 - 平成12年3月31日	平成10年4月1日 - 平成11年3月31日
売上高	69,924	74,114
売上原価	36,978	39,721
販売費及び一般管理費	25,892	25,321
営業利益	7,054	9,102
営業外収益	1,053	1,308
営業外費用	609	1,386
経常利益	7,498	9,024
特別利益	-	-
特別損失	205	343
税引前当期純利益	7,293	8,680
法人税、住民税及び事業税	3,408	4,365
法人税等調整額	321	264
当期純利益	4,206	4,579
前期繰越利益	6,365	1,229
利益による自己株式消却額	1,357	-
過年度税効果調整額	-	1,399
当期末処分利益	9,214	7,208

Point3

特別損失

円高に伴うスペイン子会社の資本金の目減りを補うため、健全性の観点から引き当て、特別損失として計上しました。

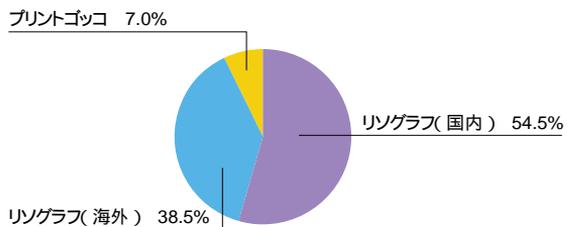
利益処分

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成12年3月期	平成11年3月期
当期末処分利益	9,214	7,208
利益準備金	-	7
利益配当金	735	755
取締役賞与金	60	80
次期繰越利益	8,419	6,365

(注) 利益配当金は、自己株式98株分を除いております。

売上高構成比率



Point4

利益による自己株式消却額

利益による自己株式の取得・消却を40万株実施しました。

リソグラフ

RISOGRAPH

リソグラフは孔版印刷の原理を核に、理想科学独自の技術を融合させて開発したデジタル印刷機です。

リソグラフは、簡単な操作で高速・低コスト印刷ができ、オフィスにおける全く新しい印刷システムとして昭和55年に登場して以来、常にこの分野をリードしてまいりました。

OAの進展によってデジタル情報の活用が格段に広がった現在、ペーパー原稿印刷はもちろん、パソコン原稿データや通信回線で送られたデータの印刷など、リソグラフは多様化するオフィスの印刷ニーズにフレキシブルに応えます。

リソグラフの特徴

毎分最高130枚のスピーディー印刷。同一原稿からの印刷が多いほど印刷単価が低減。

パソコンネットワークと接続でき、画面からの印刷指示で原稿データを高速・高精細出力できる。

最高600dpiの高解像印刷。辞書ほどの細字や写真原稿も忠実に再現。

上質紙はもちろん、更紙や再生紙など対応紙の幅が広い。

主要ラインアップ

リソグラフFRシリーズ

ペーパー原稿はもちろん、LANやイントラネットなどパソコンネットワークから受信したデータ原稿を、そのままスピーディーに印刷できる新世代リソグラフ。新画像処理によって画質もいちだんと向上。運転音の静音化を進め、オフィス環境にも配慮した新設計です。



フル装備のリソグラフFR395N

リソグラフRP210

ネットワーク環境での多枚数印刷の効率化に重点を置いたベーシックリソグラフです。手元のパソコン画面でリソグラフの作動状況やインク・マスターの状況などを確認できるモニタリング機能を備えています。



リソグラフRP210

リソグラフSR7400

プロユース市場向けに開発されたリソグラフです。プロが求める高い画像性を追求するため、600dpiの高解像度に加えSR独自の印刷機構を搭載しています。



リソグラフSR7400

リソグラフCRシリーズ

高速・低コスト印刷、パソコンとのインターフェイスなどリソグラフの基本機能はそのままに、小型・軽量・低価格化を実現したモデルです。



リソグラフCR163

リソグラフィのマーケット

リソグラフィの主要な市場は、日本でも海外でもほぼ共通で、民間企業・官公庁・学校・プリントショップなどです。

リソグラフィは主に以下のような印刷用途で利用されています。

会議資料、通知文書、定型帳票類などの事務文書

チラシ、DM、リーフレット、価格表などの販売促進ツール

地域コミュニティでの広報紙、会報、お知らせなどの印刷物

印刷会社、プリントショップ等では、マニュアル・名簿などの小冊子、各種挨拶状、名刺などの印刷物



チラシ、帳票、パンフレット、チケットなど、リソグラフィの幅広い印刷用途例



リソグラフィで印刷された出版物の例

リソグラフィ専用のアプリケーションソフト

「理想筆耕職人シリーズ」は、リソグラフィをより便利にお使いいただくための専用アプリケーションソフトです。簡単なパソコン操作で、のし、会葬礼状、挨拶状をスピーディーに仕上げます。ギフト、冠婚葬祭、プリントショップなど専門性の高い印刷物を作成する業種でご利用いただいております。

また、パソコン画面上で原稿の刷り色指定ができ、多色刷りの印刷物をリソグラフィで効率良く作成できる「理想かんたんパレット」も好評です。

理想かんたんパレット

理想筆耕職人シリーズ

理想筆耕職人のし
理想筆耕職人会葬礼状
理想筆耕職人ががき
理想筆耕職人ちらし



理想かんたんパレット

リソグラフィをポストスクリプト環境で活用するSC7700

SC7700は、パソコンとリソグラフィを接続してパソコンデータ高速出力システムを実現する専用RIP(画像生成出力装置)です。デザインやデジタルプリプレスの現場で主流となっているアドビシステムズ社の「ポストスクリプト・レベル3ソフトウェア」を搭載。ビジネスグラフィックソフトやレイアウトソフトで作成した原稿データを、一般のポストスクリプトプリンタと同様にリソグラフィから出力できます。



SC7700

リソグラフィとインク、マスターのマッチングが高画質の決め手

高精細な印刷の実現には、印刷機本体とインク、マスターのサプライ用品のマッチング効果が重要な要素です。理想科学は、孔版専門メーカーとしてハードからサプライまで総合開発・生産。単にハードのみ、サプライのみではなし得ない高画質を実現しています。



リソグラフィFRインクとマスター

製品紹介

PRINT GOCCO プリントゴッコ

布用インクを使ってTシャツやエプロン、
布製バッグにカラフルな布印刷ができます。



さまざまなアイデアをカタチに...

多彩なプリントゴッコワールド



季節のご挨拶状のほかに、手づくりの私
用箋やレターセットなど用途は広がります。

「家庭で簡単に誰もが楽しめる小型の印刷機をつくりたい」という想いがプリントゴッコに結実しました。昭和52年の発売以来、年賀状文化を背景にロングセラーを続け、幅広い年代で多くのお客様にご愛用いただいています。プリントゴッコは、正確な位置合わせが必要な多版刷りやフルカラー印刷に最適なPG-11をはじめとした八ガキサイズ対応の3機種をラインアップしています。

また、プリントゴッコの使い方など、お客様のご質問にお答える「プリントゴッコ相談室」(フリーダイヤル0120-404-403)や、プリントゴッコ活用のアイデア紹介、会員の作品紹介、通販などを行う「理想友の会」を設けお客様のプリントゴッコライフを応援しています。



プリントゴッコPG-11



作品を壁に飾ると、
素敵なインテリアになります。

プリントゴッコ

Products Information

ランプの要らない多機能デジタル製版機 「プリントゴッコデジタル」

プリントゴッコの版づくり(ハガキサイズ)が、ランプを使わずにできる「プリントゴッコデジタル」は、スキャナーでの原稿読み取り方式を採用したプリントゴッコ専用のデジタル製版機です。

カラー原稿や写真をそのまま原稿として使えるほか、ネガポジ反転と左右反転、さらにフルカラー印刷用の色分解製版も簡単にできるため、プリントゴッコの楽しさをよりいっそう広げます。



プリントゴッコデジタルセット

ワイドなカラー印刷が楽しめる 「プリントゴッコアーツ」

「プリントゴッコアーツ」は、手軽に高画質のカラー印刷が楽しめるワイドサイズのプリントゴッコです。紙用セットと布用セットがあります。

チラシやDM、趣味のアート作品、そしてオリジナルのTシャツや布製バッグ・クッションなど手づくりグッズの制作などに活躍します。



プリントゴッコアーツ(紙用セット)

第23回「手づくりの絵はがき」コンクール 心の通うコミュニケーション社会を願って

理想科学が協賛している「手づくりの絵はがき」コンクールは、今回で23回目を迎えました。このコンクールは、絵はがきの創作を通じて子どもたちの創造性の開発、親子の対話の復活、友達の輪を広げるなど、心の通い合うコミュニケーション社会づくりを目的として財団法人理想教育財団が主催、文部省・郵政省ほかの後援で毎年行われています。

応募者の年齢層も幼児から高齢者まで非常に幅広く、また国内だけでなく海外からも多数の応募がありました。

応募作品のほぼ8割がプリントゴッコ、あるいは他の技法との併用によるもので、手づくり感あふれるユニークな作品が集まりました。東京・大手町の「ていばーく」で開催された入賞作品展では、優秀作品と前回上位入賞者の招待作品が展示され、訪れた方々の目を楽しませました。



4月9日、表彰式の様子
通信総合博物館「ていばーく」
東京・大手町



『日本郵便友の会協会賞』
立山 利春さん
(北海道 公務員31歳)



『理想教育財団賞』
池田 健到くん
(米国・デトロイト
保育園5歳)



『文部大臣奨励賞』
宮本 真世さん
(東京都 小学5年)



『郵政大臣賞』
庄司 聡くん
(宮城県 小学4年)

国内

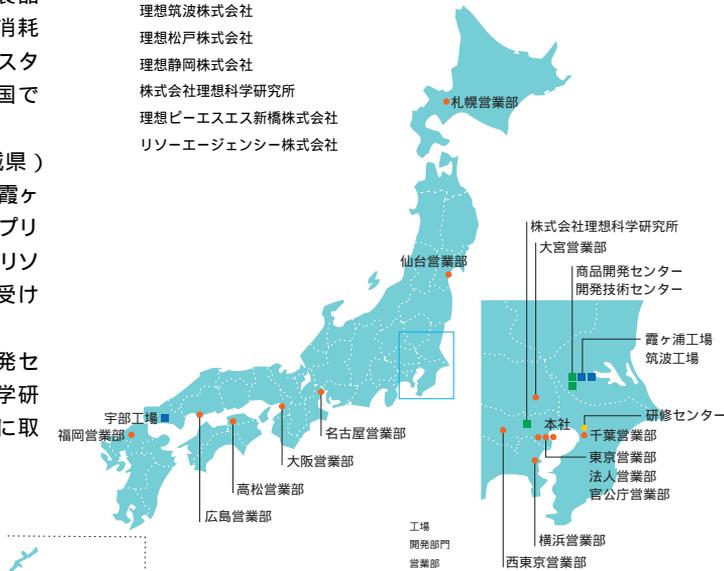
当社の販売ネットワークは14営業部45支店、および販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。技術スタッフの育成は、研修センター(千葉県)を中心に全国で行われています。

国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場(茨城県)はリソグラフ全シリーズのハードを生産しています。霞ヶ浦工場(茨城県)はリソグラフのインク、マスターとプリントゴッコを生産しています。宇部工場(山口県)はリソグラフのインク、マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門は本社のほか、茨城県に商品開発センターと開発技術センターがあり、株式会社理想科学研究所(東京都)と合わせて次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。

国内の主な子会社

- 理想沖縄株式会社
- 理想筑波株式会社
- 理想松戸株式会社
- 理想静岡株式会社
- 株式会社理想科学研究所
- 理想ピーエスエス新橋株式会社
- リソーエージェンシー株式会社



本社



商品開発センター



開発技術センター



株式会社理想科学研究所



研修センター



霞ヶ浦工場



筑波工場

平成8年、ISO9002認証取得



宇部工場

海外

当社は17の海外子会社を中心に、リソグラフの販売やマーケティング、技術サポートや消耗品の供給を行っています。また、中国広東省の珠海理想科学工業有限公司ではリソグラフの生産を開始しました。



海外子会社

海外の主な子会社

RISO, INC.
 RISO CANADA, INC.
 RISO DE MEXICO S.A.
 RISO EUROPE LTD.
 RISO (U.K.) LTD.
 RISO (Deutschland) GmbH
 RISO POLAND Sp.zo.o.
 RISO FRANCE S.A.
 RISO IBERICA, S.A.
 RISO AFRICA (PTY) LTD.
 RISO HONG KONG LTD.
 RISO CHINA LTD.
 RISO (Thailand) LTD.
 RISO (SHANGHAI) INTERNATIONAL
 TRADING CO., LTD.
 RISO TECHNOLOGY ZHUHAI CO., LTD.



RISO, INC.
 (アメリカ・ポストン)



RISO (Deutschland) GmbH
 (ドイツ・ハンブルグ)



RISO (Thailand) LTD.
 (タイ・バンコク)



RISO EUROPE LTD.
 (イギリス・ロンドン)



RISO FRANCE S.A.
 (フランス・リヨン)



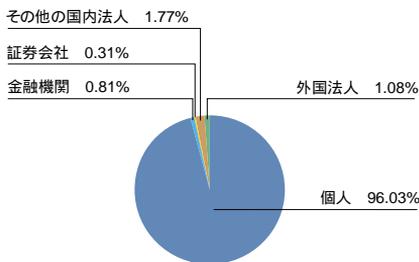
RISO AFRICA (PTY) LTD.
 (南アフリカ・ヨハネスブルグ)

会社が発行する株式の総数 **34,600,000株**
(前期末比400,000株減少)

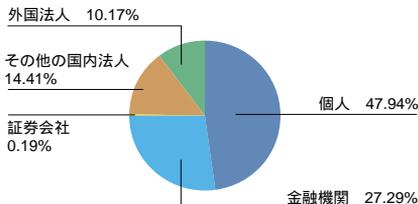
発行済株式総数 **14,706,500株**
(前期末比400,000株減少)

株主数 **5,439名**
(前期末比2,651名増加)

株主数比率



株式数比率



大株主一覧 (上位10人)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社理想社	1,135	7.72
羽山 昇	994	6.76
財団法人理想教育財団	665	4.52
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)		
サブアカウントアメリカンクライアント	649	4.41
株式会社東京都民銀行	641	4.36
株式会社さくら銀行	354	2.40
株式会社東京三菱銀行	353	2.40
羽山 昭子	352	2.39
株式会社第一勧業銀行	343	2.33
理想科学工業従業員持株会	338	2.30

自己株式の取得・消却について

平成11年12月6日開催の取締役会において、取得株式400,000株、取得価額2,000百万円をそれぞれ上限とする利益による自己株式の取得・消却について決議しました。

当決議に基づく実施結果

取得・消却した株式数 400,000株

取得価額 1,357,569,000円

会社概要

商号	理想科学工業株式会社
本社	〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15号 新橋駅前ビル1号館（登記上）
連絡先	〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル
創業	昭和21年（1946年）9月2日
会社設立	昭和30年（1955年）1月25日
資本金	14,114,488,048円
従業員数	1,632名
連結子会社	27社（国内10社 海外17社）

役員

代表取締役会長	羽山 昇
代表取締役社長	羽山 明
取締役副会長	池田 常雄
取締役副会長	柿澤 國男
代表取締役専務取締役	黒岩 経成
専務取締役	小淵 昌夫
専務取締役	西村 雅夫
常務取締役	池田 弘之
常務取締役	野見山誠一
常務取締役	原田 種弉
常務取締役	河合 伸雄
常務取締役	村井 清
取締役	川北 博
取締役	神田 恵仁
監査役	後藤 正宏（常勤）
監査役	島村 和光
監査役	* 井内慶次郎

（注）* 印は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役です。

（平成12年3月31日現在）



株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 そのほか必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日
利益配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
名義書換代理人	第一勧業富士信託銀行株式会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番2号
同事務取扱場所	第一勧業富士信託銀行株式会社 本店証券代行部 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番2号
郵便物送付先 お問い合わせ先	第一勧業富士信託銀行株式会社 証券代行部分室 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 電話03(3642)4004 (大代表)
同取次所	第一勧業富士信託銀行株式会社 全国各支店 安田信託銀行株式会社 本店および全国各支店
銘柄コード	6413
名義書換手数料	無料
新株券交付手数料	新株券1枚につき印紙税相当額(ただし、満欄による場合は無料)
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル 電話03(5441)6611

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.riso.co.jp/>

 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル